

公用車両の台数を適正化したい！

解決したいこと	公用車両の適正台数を車両種別ごとに把握するため、過去の紙の運転日誌をデータ化したい。
背景・現状	安城市では、以下の公用車両を所有しています。 ・車両台数：約250台（作業車・原付除く） ※うち市役所内駐車場に駐車中の公用車数は約90台（共用車はそのうち約30台）。それ以外は公民館等の庁外施設が所有しています。 現在、各車両の出庫・入庫記録として、運転日誌を紙で作成しています。運転日誌、実際の稼働状況などから市役所内の車両の稼働率を予想すると、必要数以上の車両を抱えている可能性があります。 また、本市では新庁舎建設の計画があり、適正な公用車台数（必要な駐車場台数）を把握する必要があります。
課題	車検や定期的な買い替えなどの費用を勘案すると、車両数の適正化は検討すべきですが、現状は車両の種別ごとに必要な台数を把握できていません。 参照すべきは「運転日誌（車両の運転開始時間、返却時間、運転距離が記載されているもの）」と考えますが、現行の運転日誌は紙媒体のため、稼働率の調査及び適正な車両数の把握には相応の手間がかかることが想定されます。 また分析に必要な項目や、その分析方法についても検討が必要であると考えられます。
提案して欲しいこと	「運転日誌の電子化」、「稼働率の調査」、「適正な車両数の把握」に資する提案を求めています。 可能であれば、「新たな運転日誌へ入力すると、稼働率を簡便に調査することができ、適正な車両数が把握できる仕組み」に繋がる提案をいただきたいです。また、共用車のみではなく、各課所管の専用車の一元管理にも繋がるノウハウもいただきたいです。
想定する解決策	運転日誌のアプリ・システム化
提供できるリソース	運転日誌
想定する事業実施時期	令和8年度：事業者から提案を受け、公用車数の適正化に向けた手法を検討したい。 令和9年度：可能であれば運転日誌の電子化等の実証を行い、稼働率から適正台数を算出したい。 令和10年度上期：公用車数の適正化を進めたい。
予算措置の可能性	現時点で予算措置なし。 内容次第で、翌年度以降に予算要求の可能性あり
担当課	資産経営課資産管理係